



特別支援学校高等部(知的障害)についてのQ&A

(中学校向け進路指導資料)

【令和元年 12 月改訂版】

中学校卒業後の進路を考えると様々な情報が必要となります。そこで、知的障害特別支援学校高等部について、よく聞かれる内容を取りあげ、一問一答(Q&A)形式で分かりやすく説明します。

I 入学者選考について



Q1 入学者選考システムはどうなってるの？

A 1

パソコンやスマートフォンなどで「新潟県立特別支援学校高等部の入学者募集」で検索すると、入学者募集の要項や各学校、各学級の募集定員が出ていますので、ご覧ください。前年度の情報が出てくることもあります。参考にご覧ください。

また、各市立の特別支援学校・総合支援学校などは各市教育委員会などへお問い合わせください。

Q2 県の入学者選考の学区ってなに？

A 2

新潟県内には、8つの通学区域に関する規則があり、該当する学区の高等部へ志願することができます。Q1と同様に秋頃から「新潟県立特別支援学校高等部の入学者募集」で検索すると、次年度の入学者募集の要項などがHPにアップされますのでご覧ください。

Q3 県の特別支援学校の学級の種類は？

A 3

県立の知的障害特別支援学校には、「職業学級」「普通学級」「重複障害学級」「訪問教育学級」があって、該当する学級へ志願することができます。Q1と同様に「新潟県立特別支援学校高等部の入学者募集」で検索し、入学者募集の要項などをご覧ください。

Q4 誰が受検できるの？

A 4

出願資格は、特別支援学級・特別支援学校などを翌年3月に卒業する人、又は卒業した人です。それ以外の人には手続きが必要になるので、在籍の中学校から市町村教育委員会に早めに申し出てください。また、該当する学校に連絡してご相談ください。

Q5 障害者手帳がないと受検できないの？

A 5

障害者手帳を取得してない人も受検できます。手帳がない場合、今後の福祉等のサービス利用に必要ですし、障害者雇用枠での企業就労へ向けては絶対に必要になってきますので、取得を勧めています。
※発達障害の方の場合、精神障害者保健福祉手帳を取得することもあります。

Q6 特別支援学校高等部と高等学校でどちらに進学すればいいか迷ってる場合はどうしたらいいの？

A 6

早めに該当の両方の学校に見学・相談することをお勧めします。説明会やオープンスクールなどに参加したり、個別に見学や学習体験をしたりして、自分でしっかりと「入学後の自分を」イメージできるようにしましょう。その上で、保護者や中学校の先生など周りのアドバイスも参考にしながら、自分にもっともふさわしい進路を選択してください。

Q7 特別支援学校高等部の「職業学級」はどんな学級なの？

A 7

新潟県内には、4つの特別支援学校に職業学級が設置されています。職業学級の出願資格には、「将来一般就労等を目指す者」「公共交通機関等を利用して、自力通学が可能な者」とあります。高等部卒業後、一般就労等を目指す人を対象とした学級で、一般就労等を目指した学習を多く行います。

Q8 職業学級の入学者選考検査は、みんなが合格するの？

A 8

「職業学級」の募集定員を超えた場合は、選考結果によって職業学級入学者を決定し、その他の受検者は普通学級の選考となります。学区内に高等部が複数ある場合、該当校による「総合選考委員会」を設置し通学の利便性などを考慮して入学者を選考することになります。

Ⅱ 学校生活について



Q9 特別支援学校高等部と高等学校は、何が違うの？

A 9

様々な違いがありますが、学習内容と卒業後の進路先について次のような違いがあります。

○特別支援学校高等部

将来自立して働く大人になるための学習を多く行います。自立活動や作業学習・実習などの授業をとおして、自分のことをより良く知り、人との関わり方や生活する力を身に付けたり、働くために必要な態度や技能を身につけるなど、一人一人に応じた学習を行います。

卒業後は、企業等に就職する人（一般就労）や福祉サービスを利用し作業所等で働いたりする人（福祉的就労）がほとんどです。

○高等学校

教科科目や専門科目を学習します。全日制では3年間、定時制・通信制では4年間以上かけて学ぶ場合もあります。卒業までに必要な単位数を各校で定めており（最低単位数は74単位）、これを修得することにより高等学校卒業資格を得ることができます。授業1時間ごとに出席を記録し、各校で定めている時数以上の出席をしないと単位が認められません。このため進級できなかったり（原級留置）、卒業できなかったりすることもあります。

単位制高校、総合学科、特色ある学科・コースなど、様々な学校があり、卒業後の進路も大学・短大、専門学校、就職と様々です。

Q10 特別支援学校高等部では、教科の学習はあるの？

A 1 0

あります。音楽や体育はどの特別支援学校でも行われています。また、国語や数学の学習をしているところもあります。ただし、卒業後の生活で必要になる力は一人一人が違うため、国語や数学の学習内容も一人一人違ってきます。内容は日常生活に必要な読み書きや計算などが中心です。

Q11 電車やバスの利用経験が少なく不安ですが、通学できますか？

A 1 1

まずは、自宅から進学先の学校までどのような経路や方法で通学するのかを、中学校の先生や保護者の方と確認してください。その上で、中学校卒業までに（中学校在学中に）実際の通学手段を使って練習をしてみることをお勧めします。

Q12 特別支援学校高等部には「部活動」があるの？

A 1 2

中学校や高等学校のような「部活動」は、ありません。最近では、放課後活動として、学校以外の方々の運営による「スポーツ、音楽、芸術など」の活動を行っている学校や地域もあります。

Q13 特別支援学校高等部の登校下校時間を教えてください？

A 1 3

各学校によって様々ですが、登校時間は9時頃の学校が多いです。下校時間は3時頃の学校もあれば、もっと遅い学校もあります。進学を考えている学校へ、問い合わせて確認しましょう。

Q14 特別支援学校高等部には校則はあるの？

A 1 4

あります。学校によって「きまり」や「規則」があり、集会や学級などでその確認や指導を行っています。学校や社会のルールを守ることができないと、高等学校と同じように停学や退学などになることがあります。スマホの利用、友達同士や異性との付き合い方など、社会に出て必要なスキルやマナーは、学校生活全般で学んでいきます。家庭や地域の協力も必要です。

Ⅲ 高等部卒業後の進路について



Q15 特別支援学校高等部を卒業すると「高卒」って言えるの？

A 1 5

「高卒」とは「高等学校卒業」という資格で、特別支援学校高等部を卒業すると「特別支援学校高等部卒業」という資格になります。一般的な「高卒」という資格ではありませんが、「高卒」と同様に大学入学資格は得られます。実際に、特別支援学校高等部を卒業して大学や短大に進学する人もいます。ただし、大学入学資格はあっても大学受験資格があるかどうかは、大学側が定めることとなっています。特別支援学校高等部では、職業教育や自立活動を重視した教育課程を編成しているため、一般の高等学校と違って各教科・科目の単位が取得できない場合や取得しても単位数が限られている場合があります。そのため、大学によっては特別支援学校高等部卒業生の受験を認めないこともあります。大学への進学も考えている場合は、事前に各特別支援学校へ確認しましょう。

なお、「高卒認定」（旧・大検：大学入学資格検定）も「高卒」ではなく、試験を受けて認定されると大学入学資格がもらえるというものです。高等学校や特別支援学校高等部を卒業して、既に大学入学資格を得ている場合は、「高卒認定」の試験を受けることができません。

Q16 知的障害特別支援学校高等部を卒業して大学や専門学校に進学できるの？

A 1 6

特別支援学校高等部を卒業した場合にも、大学入学資格はあります。ただし、大学受験や専門学校への進学に対応した学習を行っている知的障害特別支援学校はとても少なく、また、「高等学校卒業資格」を受検資格としている大学や専門学校も多いため、将来進学を考えている場合にはよく考えて進路先を決定しましょう。

Q17 特別支援学校高等部に進学すると、どんな力がつくの？

A 1 7

特別支援学校高等部では、一人一人の未来に向かって「将来の自立と社会参加」の力を身に付けるための学習を行っています。ですから、高等部で身に付く力は、一人一人違ってきます。働くために必要な力、周りの人と関わっていく力、生活を自分自身で行っていく力など、自分の課題を解決するための力が身に付くように学習を行っています。これらの力を身に付けるためには、3年間学び続け、授業や実習に継続して取り組むことがとても大切です。